

2018年度 第1四半期連結決算説明資料

2018年8月9日

ブラザー工業株式会社

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

◆ 売上収益 1,711億円/ +2.0%

各事業とも堅調に推移し、全社では概ね計画どおりの進捗

- ✓ LBP/IJPとも中国・アジア地域が好調
- ✓ 工業用マシンは各地域好調で、大幅増収
- ✓ 産業機器は、自動車関連向けがIT向けの減少を補い、増収確保

◆ 事業セグメント利益 205億円/ +17.0%

- ✓ P&S事業の事業セグメント利益率は15%。高い収益性を維持
- ✓ 工業用マシン/産業機器が増益を牽引

◆ 営業利益 223億円/ +76.6%

- ✓ 為替予約の評価損益が大幅に改善

売上収益は、1,711億円となり、前年からプラス2.0%、34億円の増収となりました。各事業とも堅調に推移し、ほぼ計画どおりで着地しました。

主なポイントは、

- ・プリンティング事業は、IJP/LBPとも、中国・アジア地域が好調
- ・工業用マシンは、ガーメントプリンター含め、各地域好調
- ・産業機器は自動車関連向けが好調で、ITの落ち込みをカバーし増収確保の3つと考えています。

事業セグメント利益は、205億円となり、前年からプラス17%、30億円の増益となりました。P&S事業の利益率も15%となり、収益力強化事業として、順調な出だしとなったほか、好調だった工業用マシン・産業機器が増益を牽引してくれました。

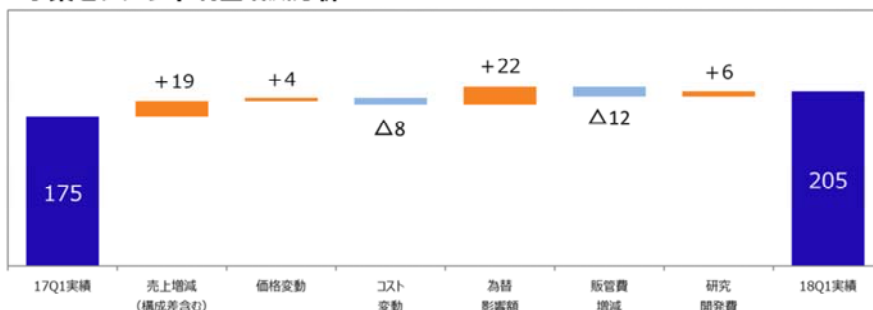
営業利益は、223億円となり、前年からプラス76.6%、97億円の増益となりました。為替予約の評価損益が大幅に改善したことが要因です。

	17Q1	18Q1	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	1,677	1,711	34	2.0% (+1.4%)
事業セグメント利益	175	205	30	17.0%
事業セグメント利益率	10.4%	12.0%		
その他の収益・費用	▲49	18	67	
営業利益	126	223	97	76.6%
営業利益率	7.5%	13.0%		
税引前利益	130	225	95	73.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	91	166	74	81.1%
USD	111.61	108.71		
EUR	123.14	129.39		

為替影響額
USD + 1億円
EUR + 17億円
その他 + 4億円

デリバティブ評価損益
+ 60億円

事業セグメント利益増減分析



事業セグメント利益の増減要因の主要な要素を説明します。

まず売上増減のプラス19億円ですが、ほとんどがマシナリー事業による効果で、工業用ミシンの増収によるものと、産業機器のミックスの改善によるものです。産業機器は売上は前期と大きく変わらないものの、顧客構成の変化や、生産稼働の要因もあり、採算性が大きく改善しました。

価格変動による利益へのプラス4億円の影響ですが、ほぼP&S事業におけるものです。

コストダウンによる利益へのマイナス8億円の影響ですが、ほぼすべてがP&S事業となります。

為替影響のプラス22億円ですが、内訳は欄外に記載のとおりとなります。

販管費が増加したことによる利益の減少要因12億円は、P&S事業とマシナリー事業が半分ずつのイメージです。

研究開発費が減少したことによる利益の増加要因6億円は、大半がP&Sです。

2018年度第1四半期 セグメント別概要

brother
at your side

単位：億円

売上収益	17Q1	18Q1	増減率	為替影響を除く 増減率
全社	1,677	1,711	2.0%	1.4%
プリンティング & ソリューションズ	988	995	0.7%	0.4%
パーソナル & ホーム	93	88	-5.8%	-5.3%
マシンリー	291	314	8.0%	7.1%
ネットワーク & コンテンツ	112	115	2.8%	2.7%
ドミノ	164	171	4.0%	0.7%
その他	29	28	-2.0%	-2.0%

事業セグメント利益	17Q1	18Q1	増減率
全社	175	205	17.0%
プリンティング & ソリューションズ	134	149	11.3%
パーソナル & ホーム	△ 2	△ 1	-
マシンリー	25	42	63.6%
ネットワーク & コンテンツ	-1	2	-
ドミノ	16	12	-23.2%
その他	2	2	-27.4%
調整額	△ 0	△ 0	-

営業利益	17Q1	18Q1	増減率
全社	126	223	76.6%
プリンティング & ソリューションズ	91	160	75.1%
パーソナル & ホーム	△ 5	△ 1	-
マシンリー	25	43	73.0%
ネットワーク & コンテンツ	-1	2	-
ドミノ	12	16	25.5%
その他	3	3	-7.0%
調整額	△ 0	△ 0	-

2018年度 連結業績予想概要

brother
at your side

単位：億円

	前回予想	FY18 今回予想	増減額	FY17	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	6,900	6,900	-	7,130	-3.2% (-1.6%)
事業セグメント利益	710	710	-	772	-8.1%
事業セグメント利益率	10.3%	10.3%		10.8%	
その他の収益・費用	▲ 10	▲ 10		▲ 86	
営業利益	700	700	-	687	1.9%
営業利益率	10.1%	10.1%		9.6%	
税引前利益	700	700	-	697	0.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	520	520	-	500	4.0%
USD	107.00	107.00		110.81	
EUR	128.00	128.00		129.45	

業績予想の変更は前回予想から変更無し

✓ セグメント内訳、為替前提も前回予想を据え置き

◆ 売上収益 6,900億円/▲3.2%

IT関連の受注が未確定なことに加え、為替のマイナス影響やIFRS15号適用による影響により減収を見込む

◆ 事業セグメント利益 710億円/▲8.1%

産業機器が減収となる影響及び為替のマイナス影響により減益を見込む

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

5

業績予想についてです。

ご覧のとおり、今回は前回から見直しを変更していません。

為替前提も、ユーロは128円で、前回通りのままです。

Q1の各事業の進捗状況は、利益についてはやや上振れで推移しているものの、為替水準および産業機器の受注見通しも期初の見方を変えなければならない状況には至っていないため、今回は前回予想を据え置いております。

2018年度 連結業績予想 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	前回予想	18年度予想	増減率	17年度実績	対前年増減率	為替影響を除く増減率
全社	6,900	6,900	-	7,130	-3.2%	-1.6%
プリンティング & ソリューションズ	3,935	3,935	-	4,122	-4.5%	-2.2%
パーソナル & ホーム	449	449	-	445	1.0%	4.4%
マシナリー	1,153	1,153	-	1,273	-9.4%	-8.3%
ネットワーク & コンテンツ	490	490	-	491	-0.1%	-0.1%
ドミノ	735	735	-	684	7.5%	5.5%
その他	138	138	-	116	18.7%	18.6%

事業セグメント利益	前回予想	18年度予想	増減率	17年度実績	対前年増減率
全社	710	710	-	772	-8.1%
プリンティング & ソリューションズ	498	498	-	529	-5.8%
パーソナル & ホーム	30	30	-	20	51.4%
マシナリー	116	116	-	144	-19.6%
ネットワーク & コンテンツ	24	24	-	27	-9.9%
ドミノ	40	40	-	46	-13.8%
その他	2	2	-	7	-72.8%
調整額	-	-	-	-1	-

営業利益	前回予想	18年度予想	増減率	16年度実績	対前年増減率
全社	700	700	-	687	1.9%
プリンティング & ソリューションズ	489	489	-	474	3.3%
パーソナル & ホーム	30	30	-	11	185.4%
マシナリー	117	117	-	141	-17.2%
ネットワーク & コンテンツ	21	21	-	13	56.4%
ドミノ	40	40	-	40	0.1%
その他	3	3	-	9	-66.7%
調整額	-	-	-	-1	-

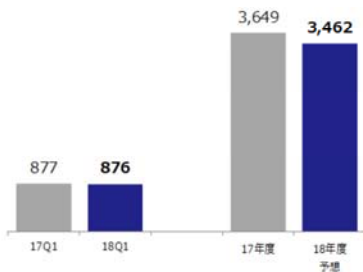
プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



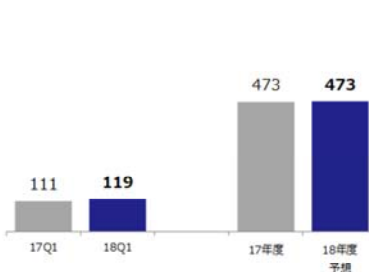
単位：億円

	17Q1	18Q1	増減率	為替影響 除く増減率	17年度	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	988	995	0.7%	0.4%	4,122	3,935	-4.5%	-2.2%
通信・プリンティング機器	877	876	-0.1%	-0.4%	3,649	3,462	-5.1%	-2.8%
米州	330	314	-4.8%	-2.0%	1,335	1,263	-5.4%	-1.1%
欧州	265	273	3.1%	-0.9%	1,192	1,155	-3.1%	-2.0%
アジア他	157	173	10.4%	9.6%	616	615	-0.1%	2.3%
日本	125	115	-7.7%	-7.7%	505	428	-15.2%	-15.2%
電子文具	111	119	6.8%	7.0%	473	473	0.1%	2.5%
米州	52	56	8.1%	11.3%	212	209	-1.4%	2.8%
欧州	32	32	-0.8%	-4.7%	146	148	1.1%	2.2%
アジア他	19	21	15.4%	14.1%	76	75	-0.8%	1.6%
日本	9	9	8.5%	8.5%	39	41	5.6%	4.4%
事業セグメント利益	134	149	11.3%	-	529	498	-5.8%	-
営業利益	91	160	75.1%	-	474	489	3.3%	-

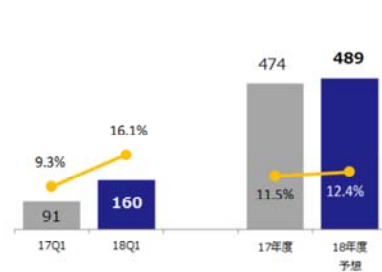
<売上収益> 通信・プリンティング機器



<売上収益> 電子文具



<営業利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

各事業の状況について、主なポイントを説明します。

P&S事業の第1四半期の売上収益は995億円で、現地通貨ベースでは対前年でプラス0.4%で、微増となりました。

通信・プリンティング機器の売上収益は876億円で、現地通貨ベースでは対前年でマイナス0.4%で、微減となりました。

エンジンごとの伸び率の内訳は、8ページに記載しておりますのでご覧ください。

地域別には、米州・欧州は前年比微減の水準での推移となりましたが、中国・アジアではレーザー・インクジェットとも需要が強く、前年比で大幅な増加になりました。社内計画比でも、欧米はやや弱いものの、中国・アジアが大きく上振れていることもあり全体でもやや上振れての着地となりました。

なお、新モデルを投入した大容量タンクモデルも、Q1の販売は計画を上回っており、順調な滑り出しとなっています。

消耗品についても、前年比ではほぼ伸びは無いものの、計画よりはやや高めの水準となっており、順調と考えております。

次に電子文具の売上収益は119億円で、現地通貨ベースでは対前年で7.0%の増収となりました。ピータッチの本体・消耗品の販売が米州・アジア・中国で好調に推移したほか、モバイルプリンターなどのソリューション事業も米国で好調でした。

プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

brother
at your side

	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	17通期	18通期
LBP							
売上伸び率（円ベース/前年比）							
本体	13%	24%	23%	11%	1%	17%	-8%
消耗品	-1%	2%	9%	1%	1%	3%	-3%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）							
本体	12%	15%	15%	10%	0%	13%	-6%
消耗品	-2%	-8%	2%	-1%	0%	-2%	0%
IJP							
売上伸び率（円ベース/前年比）							
本体	3%	15%	3%	-1%	-6%	4%	-1%
消耗品	4%	3%	13%	3%	1%	6%	-6%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）							
本体	3%	6%	-3%	-2%	-6%	1%	1%
消耗品	4%	-5%	6%	1%	1%	1%	-5%
消耗品比率	57%	57%	56%	58%	57%	57%	58%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）							
LBP	13%	9%	10%	3%	-1%	9%	-
IJP	-7%	-5%	-9%	3%	-1%	-5%	-

パーソナル&ホーム事業
地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

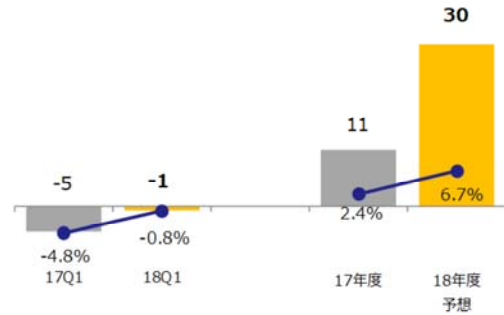
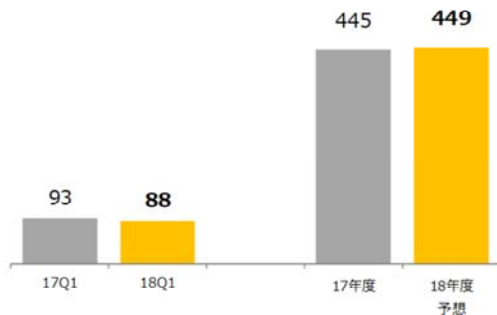


単位：億円

	17Q1	18Q1	増減率	為替影響 除く増減率	17年度	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	93	88	-5.8%	-5.3%	445	449	1.0%	4.4%
米州	49	43	-12.6%	-9.1%	240	240	-0.2%	4.6%
欧州	24	25	2.8%	-2.5%	113	115	2.0%	3.8%
アジア他	13	12	-2.8%	-3.0%	55	58	5.4%	8.1%
日本	7	8	7.4%	7.4%	36	36	-0.9%	-0.6%
事業セグメント利益	△ 2	△ 1	-	-	20	30	51.4%	-
営業利益	△ 5	△ 1	-	-	11	30	185.3%	-

<売上収益>

<営業利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

9

P&H事業の第1四半期の売上収益は88億円、現地通貨ベースの伸び率では、5.3%の減収となりました。

地域別では、米州がマイナス9.1%となり、特に落ち込みが顕著でした。

8月初旬にアメリカで最高級刺しゅうミシンの発表イベントを行ったのですが、Q1時点から販売店に対しても予告を行っていたため既存モデルの買い控えが発生したことが、アメリカが弱かった背景と考えています。

家庭用ミシンはこれからがセールスシーズンとなるため、新製品効果で増収・増益の達成を目指していきます。

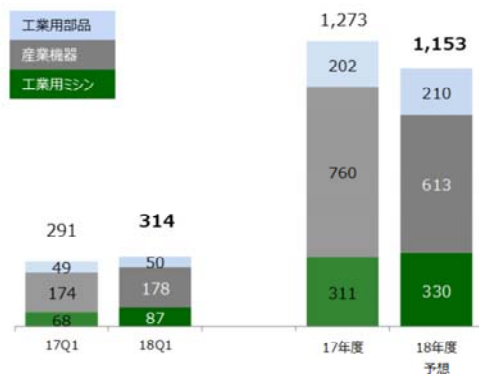
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

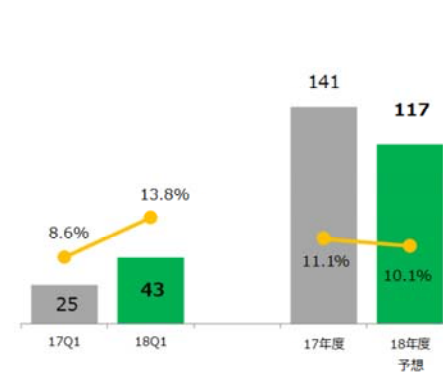
単位：億円

	17Q1	18Q1	増減率	為替影響 除く増減率	17年度	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	291	314	8.0%	7.1%	1,273	1,153	-9.4%	-8.3%
工業用マシン	68	87	27.8%	26.9%	311	330	6.1%	9.1%
産業機器	174	178	2.2%	1.0%	760	613	-19.4%	-19.0%
工業用部品	49	50	1.4%	1.3%	202	210	4.0%	4.8%
事業セグメント利益	25	42	63.6%	-	144	116	-19.6%	-
営業利益	25	43	73.0%	-	141	117	-17.2%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

10

マシナリー事業の第1四半期の売上収益は、工業用マシンが87億円、産業機器が178億円、工業用部品が50億円となりました。

工業用マシンは、中国での好調が続いていることに加え、アジア地域もバングラデシュ・ベトナム・インドネシアなどが堅調に推移しております。
欧米についても、トルコや中米での需要が堅調なことに加え、「ガーメントプリンター」が好調に推移しており、業績に大きく貢献しております。

産業機器は、IT関連の大口受注がなくなったものの、自動車関連の売上が好調に推移し、前年を上回る売り上げを確保しました。
売上に占めるIT比率は、3割まで下がりましたが、残り7割の自動車・一般機械関連の売上は前年同期に比べ6割近く増加しており、ITの落ち込みを補うことができました。
見通しについては、IT関連の状況に期初から変化がないため、前回から据え置きとしております。

工業用部品は、国内を中心に、半導体製造装置向けやFA機器向けの需要が安定しており、堅調に推移しております。

マシナリー事業 地域別売上収益

brother
at your side

単位：億円

	17Q1	18Q1	増減率	為替影響 除く増減率	17年度	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	291	314	8.0%	7.1%	1,273	1,153	-9.4%	-8.3%
工業用マシン	68	87	27.8%	26.9%	311	330	6.1%	9.1%
米州	13	17	24.5%	27.9%	64	68	6.8%	11.0%
欧州	14	21	52.1%	44.7%	63	64	2.8%	4.3%
アジア他	39	47	20.2%	20.2%	178	191	7.3%	10.5%
日本	1	2	24.0%	24.0%	7	7	-0.6%	-1.4%
産業機器	174	178	2.2%	1.0%	760	613	-19.4%	-19.0%
米州	7	9	23.2%	-	33	38	16.4%	-
欧州	8	11	29.6%	-	30	33	9.1%	-
アジア他	142	131	-7.2%	-	608	442	-27.4%	-
日本	17	27	59.3%	-	89	100	12.5%	-
工業用部品	49	50	1.4%	1.3%	202	210	4.0%	4.8%
米州	7	6	-12.0%	-9.8%	25	26	6.8%	10.6%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	5	6	24.3%	21.2%	20	23	13.6%	15.9%
日本	37	37	0.7%	0.7%	157	160	2.3%	2.4%

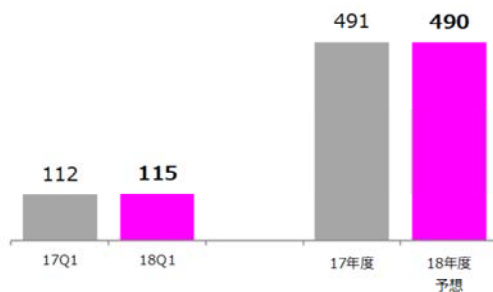
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



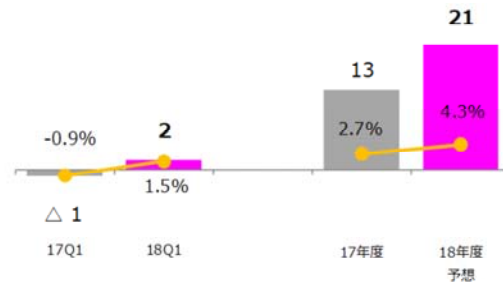
単位：億円

	17Q1	18Q1	増減率	17年度	18年度 予想	対前年 増減率
売上収益	112	115	2.8%	491	490	-0.1%
事業セグメント利益	△ 1	2	-	27	24	-9.9%
営業利益	△ 1	2	-	13	21	56.3%

<売上収益>



<営業利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

N&C事業の第1四半期の売上収益は、115億円、前年比微増となりました。
カラオケ事業、直営店舗事業とも総じて堅調が続いております。
売上・利益ともほぼ計画線で推移しております。

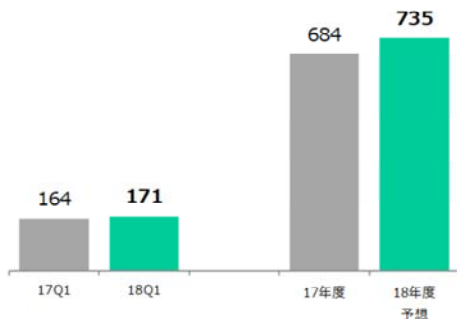
ドミノ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

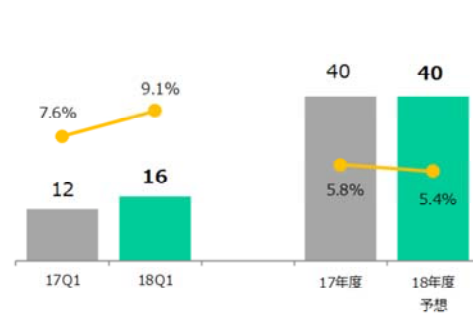
単位：億円

	17Q1	18Q1	増減率	為替影響 除く増減率	17年度	18年度 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	164	171	4.0%	0.3%	684	735	7.5%	5.5%
米州	41	35	-13.1%	-15.8%	159	176	10.6%	8.9%
欧州	78	87	11.3%	7.8%	337	351	4.1%	2.8%
アジア他	46	49	6.7%	3.4%	187	207	10.5%	9.2%
事業セグメント利益	16	12	-23.2%	-	46	40	-13.8%	-
営業利益	12	16	25.5%	-	40	40	0.0%	-

<売上収益>



<営業利益>



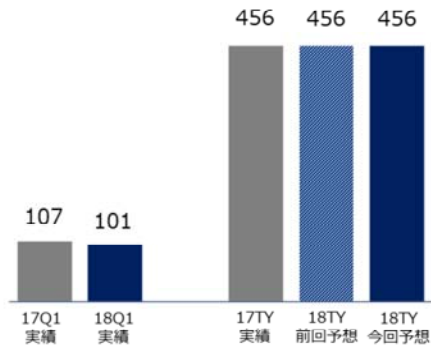
© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

13

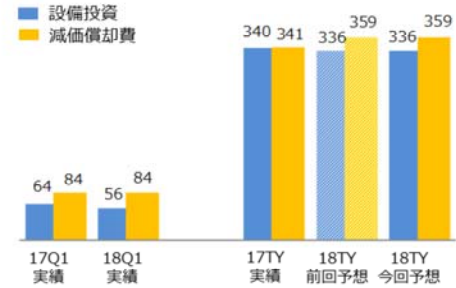
ドミノ事業の売上収益は171億円となり、ポンドベースの伸び率では、ほぼ前年並みとなりました。地域別でみていただくと、米州での落ち込みが大きく、マイナス15.8%となっております。これは、前年のQ1が期ずれ要因もあり水準が高かったことに加え、C&M事業が想定よりやや弱いことが要因です。逆にデジタル印刷機に関しては各地域とも前年を上回っており、ますます好調と言ってよい水準です。

事業セグメント利益が12億円と、前期に比べて4億円の減益となっている要因ですが、売上同様に期ずれの影響による粗利の減や、開発費の増加などがあげられます。なお対前年では減益ではありますが、社内計画に対しては概ね想定どりの水準です。営業利益については、前期は為替差損を計上したことに対して、今期は為替差益を計上したこともあり、増益となっております。

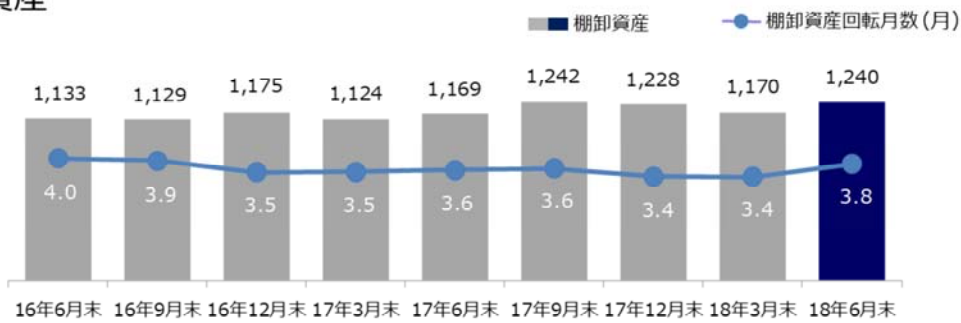
研究開発費
(億円)



設備投資・減価償却費
(億円)



棚卸資産
(億円)



brother
at your side